

令和6年度神戸大学後期日程 入試問題『出題の意図・評価ポイント』

小論文（国際人間科学部グローバル文化学科）

- ※1 この『出題の意図・評価ポイント』についての質問、照会には一切回答しません。
- ※2 配点（素点）は入試問題に記載してあります。
なお、本学入学者選抜のための教科・科目ごとの配点については、令和6年度神戸大学学生募集要項を参照してください。

【出題の意図・評価ポイント】

問1

李良枝の『由熙』と「それまでの「在日文学」」が、小説の題材やテーマ、作家のルーツやアイデンティティといった点において、どのように異なっているかを本文に即して明確に説明できているかを評価のポイントとした。

問2

李良枝の「ことばの杖」という表現が何の比喻であるのかを示したうえで、その表現によって、どのように理解されるかをふまえつつ、言語と民族・アイデンティティ、言語と身体の関係について、本文に即して明確に説明できているかを評価のポイントとした。

問3

課題文では、言語をテーマとして、文化の所有者・生産者は単一のアイデンティティから構成されるべきか、あるいは、多様な出自と複数のアイデンティティを有してよいか、という議論が示された。それをふまえたうえで、文化の所有や生産といった問題と関連する現代的な事例を適切に選択し、具体的かつ論理的に述べられているかを評価のポイントとした。